

# 男女共同参画の視点からの 表現の手引

～市刊行物に適切な言葉や表現を使いましょう～

## 〈目次〉

1	はじめに	1
2	表現にあたっての留意点	
問題点1	男女いずれかに偏った表現	2
問題点2	性別によるイメージを固定化した表現	
問題点3	男女が対等な関係となっていない表現	3
問題点4	男女で異なった表現	
問題点5	人目を引くための手段として使う表現	4

チェックリスト ～その表現は適切ですか～

小金井市企画財政部企画政策課

# 1 はじめに

市は、広報紙、パンフレット、ポスターなどの刊行物・印刷物を始めとして、ホームページなどの電子媒体、会議・イベントなど、多くの情報を発信しています。

発信する情報は、内容・表現手法について、受け手となる人々の意識形成や、社会に与える影響などを考える必要があります。

何気なく使う表現などが、差別や偏見の助長や、固定的な考え方の押しつけとなることがあります。だれもが個人として尊重され、多様な生き方や個性が発揮できるよう、公平性、中立性、人権に配慮することが求められています。

「この表現がなぜ問題となるのか」「表現を見直すことにどのような意義があるのか」を考え、男女が共にいきいきと暮らせる小金井市をつくっていきましょう。

## 【気をつけたいメディア、表現】

### ○印刷物・メディア

印刷物（広報紙、情報誌、ポスター、パンフレット、報道発表資料、白書・行政資料など）

電子媒体（ホームページ、ツイッター、DVD、CD-ROM など）

音声・視覚媒体（会議、イベント、接遇など）

公共構造物（表示、看板、デザインなど） その他

### ○対象となる表現

文章、イラスト、写真、音声 その他

## 2 表現にあたっての留意事項

### 問題点 1 男女いずれかに偏った表現

男女双方を対象としているにもかかわらず、いずれかの性別のみが対象であるかのような印象を与えないようにしましょう。

#### 【気になる表現・イラスト・写真】

○いずれかの性別を意味する言葉で全てを代表させた用語を使う。

例：父兄、サラリーマン、保母 など

○登場人物が男性又は女性のみであるなど、人数のバランスを大きく崩して描く。

○男女が共に参加できる会議や行事の場を表現するときに、男女いずれかのみを登場させる。

#### 【対応例】

○いずれかの性別を意味する言葉で全てを代表させた用語は見直す。

例：「父兄」→「保護者」、「サラリーマン」→「会社員、勤労者、給与生活者」、  
「保母」→「保育士」

○登場人物の男女の数や役割等のバランスを取り、一方の性別を強調しないようにする。

○会議や行事の場を描くときは、男女共に登場するようにする。

### 問題点 2 性別によるイメージを固定化した表現

男女の役割分担意識や職業などのイメージを強調したり、個性を性別と連動させた表現を使用することで、不快感を与えないようにしましょう。

#### 【気になる表現・イラスト・写真】

○会社で働く役を男性、家事、育児、介護をする役を女性と決めつけて描く。

○関心のあることや趣味（遊びやスポーツ）を性別で決めつけて描く。

○豪快なことを「男性的」、繊細なことを「女性的」と表現する。

例：男のくせに、女だてらに、女々しい

#### 【対応例】

○職業や職種などを表現するときは、男女が偏らないように描く。

○男女共に、家事、育児、介護などに関わる姿を表現する。

○男の子も女の子もさまざまな遊びをしているように表現する。

### 問題点3 男女が対等な関係となっていない表現

男女のいずれかが中心的、もう一方が補助的・従属者的な存在と決めつけた表現や、性別による能力や適性の優劣があるかのような表現の累積で、誤った意識が根付かないようにしましょう。

男女に不平等をもたらし、上下や優劣があるような表現を使わないようにしましょう。

#### 【気になる表現・イラスト・写真】

- 上司や議長役を、いずれかの性別に決めつけて描く。
- 加害者は男性、被害者は女性と決めつけて表現する。
- 家族の中で、男性が常に優位・中心にあるような印象を与える表現を使う。

#### 【対応例】

- 上司や議長役を表現するときは、いずれかの性別に偏らないように描く。
- 家族を表現するときは、内容に応じて違った表現を工夫する。

### 問題点4 男女で異なった表現

理由もなく、男女で異なる表現を使用して、公平性、中立性を欠かないようにしましょう。特に、必要もなく女性を冠する表現を使用すると、これまで主に男性が担っていた分野に、女性が参入したことを特別視する印象を与えることがあります。

統計上の公正さを欠く表現にも気をつけましょう。

#### 【気になる表現】

- 必要もなく、女性の場合に限って、性別を示す言葉をつけて表現する。  
例：女流作家、女社長、〇〇女史など
- 統計上、根拠なく男女いずれかの数値を特別視して表記する。  
例：「〇人（うち女性〇人）」「〇人（うち男性〇人）」

#### 【対応例】

- 性別を冠する表現を入れ替えて、対語になるか、違和感がないか確認する。  
例：「女流作家」「男流作家」→「作家」、「〇〇女史」「〇〇男史」
- 統計上の内容に応じて表記する。  
例：「〇人（男性〇人、女性〇人）」

## 問題点5 人目を引くための手段として使う表現

伝えたい内容と無関係に、いずれかの性別の外見や、性的側面を強調した表現を使用して、不快感を与えないようにしましょう。

多くの人が共感できる表現手法になっているか、確認してみましょう。

### 【気になる表現・イラスト・写真】

- 必要もないのに、容姿の善し悪しなどを強調する言葉をつけて表現する。
- 内容と無関係に、水着やミニスカート姿などの女性を登場させる。

### 【対応例】

- 写真やイラストを使用する場合は、内容との整合性を考える。
- 施設紹介や観光のパンフレットなどでは、多様な性別・年齢の人物を登場させる。

# チェックリスト

～その表現は適切ですか～

◆ 企画段階では…

- 伝えたい内容は何か？
- 伝えたい対象は誰ですか？
- 強調したい点、訴えたい点は何か？

◆ 作成段階では…

- 男女双方が想定された表現になっていますか？
- 男女がバランスよく登場していますか？
- 性別によるイメージを固定化した表現（役割・数・大きさ）になっていませんか？
- 男女のいずれかが中心的、もう一方が補佐的・従属者的な存在になっていませんか？
- 性別で公平性・中立性を欠いた表現はありませんか？
- 人目を引くために使った表現は多くの人共感できるものになっていますか？

◆ もう一度チェックしてみましょう

- いろいろな個性を表現し、違和感・疎外感のない表現になっていますか？
- 伝えたい内容が、分かりやすく、共感を得られるものになっていますか？

男女共同参画の視点を取り入れて、男女が共にいきいきと暮らせるまちをつくりましょう。

男女共同参画の視点からの表現の手引

作成 小金井市企画財政部企画政策課男女共同参画室

平成 24 年 3 月